

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	男女共同参画推進大会・各種講座の開催事業			事業期間	平成 22 ~ 年度	整理番号	01070205
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	市民活動推進係	作成担当者名	小池 芳子	連絡先	145

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	06	第6章 住民自治のしくみづくり									
				施策	05	第5節 男女共同参画社会づくりの推進									
				細施策	01	男女共同参画の推進									
				事務事業	01	男女共同参画推進大会・各種講座の開催事業									
	予算事業名					会計コード	001	款	02	項	01	目	06	事業	09
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	男女共同参画社会実現に向けて、市民への意識啓発を目的とし、男女共同参画推進委員、女性団体連絡協議会、男女共同参画を進める会、公募の方を含めた実行委員会を設置し、市民主体の活動によって計画される大会です。市民のみならず、男女共同参画を視点に、意見、情報交換の場となります。市民への男女共同参画の意識改革の啓発の講座を開催します。													
	現状と背景 （どうして）	社会や経済情勢の大きな変革が行われている中で、活力ある地域社会づくりを実現するためには、男女の多様な考え方や力を生かしていくことが求められています。あらゆる分野へ男女が等しく参画するために、市民の理解、協力が必要となるので、大会や講座を通じて意見を出し合い反映させていく場が必要です。													
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民												
		対象 （直接働きかける）	市民												
		意図	あらゆる分野への男女共同参画が推進され、男女がお互いに人権を尊重しながら責任を分かち合い、性別に関わりなく、個性・能力を発揮することができる社会。												
	手段・方法 （どうやって）	男女共同参画推進委員、女性団体連絡協議会、男女共同参画を進める会、公募者のメンバーで形成される実行委員会が計画します。その年のテーマを決めて内容を進めていきます。大会当日はアンケートをお願いし、来年度への参考とします。また、大会開催の1週間前から、市役所1階のロビーを利用し、女性団体や男女共同参画を進める会等の活動の紹介をし、市民への情報発信、啓発をします。家庭教育センター主催の講座に男性のための講座、													
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値							
		男女共同参画推進大会の開催	開催数	回	毎年の開催			1							
		男性のための講座	開催数	回	毎年の開催			1							
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値							
		男女共同参画推進大会参加者	大会参加者数	人	参加者の増加			200							
		講座への参加数	講座参加者数	人	参加者の増加			40							

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	189,089	150,000	145,000	150,000	154,000
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	189,089	150,000	145,000	150,000	154,000
職員数							
正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.13	
嘱託職員	人						
臨時職員	人	0.03	0.03	0.03	0.03		
合計	人	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	3.00	3.00	3.00	3.00	20.00
活 動 指 標 （ ）	開催数	目標	1	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1	1
		達成率	100.00	100.00	100.00	100.00	-
	開催数	目標				1	1
		実績				1	
		達成率	-	-	-	100.00	-
開催数	目標				2	2	
	実績						
	達成率	-	-	-	-	-	
成 果 指 標 （ ）	大会参加者数	目標	200	550	200	200	200
		実績	160	500	130	120	130
		達成率	80.00	90.91	65.00	60.00	65.00
	講座参加者数	目標	32	38	40	40	40
実績		15	20	26	36	36	
	達成率	46.88	52.63	65.00	90.00	90.00	
備考							

事務事業名	男女共同参画推進大会・各種講座の開催事業	事業期間	平成 22 ~	年度	整理番号	01070205	
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	市民活動推進係	作成担当者名	小池 芳子	連絡先	145

期	目標	実績	課題
第1期	第1回実行委員会を開催し、平成26年度の反省、27年度の大会内容を計画する。事務局側で「人権尊重社会づくり県民支援事業」の補助金の申請をする。	「人権尊重社会づくり県民支援事業」の補助金が採択され、大会予算が増え、実行委員会で、今まで、できなかった講師を呼んでの大会をすることになった。市民にとって柔らかく気軽に参加できる内容にすることを決めた。	参加者を増やす方法が必要であり、チラシ配布方法、ポスターを貼る場所、啓発グッズ等の検討をする。実行委員が自ら動いていけるよう、各委員のモチベーションが上がるようにしていく。
第2期	8月23日(日)開催に向け、企画部会、実行委員会を開催し、具体的に内容決定、役割、集客をしていく。	8月23日(日)に予定通り、大会を開催した。集客方法として、気軽に参加できる内容、参加品付等で取り組んでみたが、期待していた参加者数ではなかった。	参加者数は少なかったが、参加した方達は「内容はよかった」という声や「タオルで作る防災頭巾」が好評であった。参加者が何かを持ち帰ることができたかということに評価する意識を変えていくことも大切かと感じる。
第3期	実行委員会の反省の場を持つ必要があるが、方法を委員長と検討する。	各専門部会で大会の反省を出してもらった。	委員からの反省 ・参加してくれた方が満足してくれればよい。 ・参加者のターゲットを絞り内容も決める方法もよい。 ・他の行事等と避けて日を決めたが結局かぶった。
第4期	実行委員会を3月に開く。それまでに協議用資料を揃える。	推進会議開催に合わせ、平成28年度の大会実行正副委員長を決め、内容も先日に幹事会(正副部会長会)で協議した事に同意を得た。	講師も若い世代の参加者を集めるために、託児も必要と指摘している。集客方法を企画部会で充分協議する必要がある。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
「茅野市男女共同参画推進大会」を開催し、結果の評価を参加者数にこだわってきたが、参加者が何かを持ち帰ることができたかということに評価する方へ意識を変えていくことも大切かと感じる。	
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	
茅野市男女共同参画推進大会10回目となることを市民へ周知するためにも、予算増額の対策として、県事業共催や、予算流用も予定する。	
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	<p>「男女共同参画社会づくり」に感心のない市民に対して、大会内容をどう持っていくか、毎年、実行委員会にとって検討に一番時間が要しますが、十分な話し合いが必要です。参加対象を「区・自治会」「雇用」「家庭・教育」のどこに持っていくか決めて、この大会を通じて何を啓発していくか絞って決めていく必要があります。また、実行委員会のあり方として、今までのように事務局がある程度準備した段階で動くのではなく、「市民主体で動く実行委員」としての大会に持っていくことも課題となります。</p>															
CH E C K	前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					B
CH E C K	前年度評価シート整理番号					前年度評価シート整理番号					前年度評価シート整理番号					01070223

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定
総合評価	男女共同参画の社会づくりへの市民の意識は以前よりも多くはなっているが、一部だけだと感じる。様々な解釈、思いがあるので推進はむずかしいです。大会開催を続けることにより、市民への啓発、理解を深める必要があります。どこをターゲットにするかも必要です。					男女共同参画の社会づくりは、以前より市民は意識ははきていますが、様々な解釈、思いがあるので推進はむずかしいです。大会開催を続けることにより、市民への啓発、理解を深める必要があります。どこをターゲットにするかも必要です。				
CH E C K	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定
今後の方向性	成果の方向性					成果の方向性				
CH E C K	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
ACTION	実行委員から市民が気楽な気持ちで参加し、周りの身近な事に対して「ああこれが男女共同参画なんだ」と感じて帰って行くソフトな内容の大会でも良いのではないかと意見もありますが、参加者に啓発となるようなテーマをあげての内容も必要だという意見もあり、充分な話し合いが必要となります。					実行委員から市民が気楽な気持ちで参加し、周りの身近な事に対して「ああこれが男女共同参画なんだ」と感じて帰って行くソフトな内容の大会でも良いのではないかと意見も多く出ています。市民等による実行委員会と協同し、大会の内容、テーマ等について検討します。				

最終評価年月日	平成28年4月13日	最終評価責任者	パートナーシップのまちづくり推進課長	田中 裕之
---------	------------	---------	--------------------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	雇用の男女共同参画事業	事業期間	平成 22 ~ 年度	整理番号	01070207
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	市民活動推進係	作成担当者名	小池 芳子
				連絡先	145

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 06 第6章 住民自治のしくみづくり 施策 05 第5節 男女共同参画社会づくりの推進 細施策 01 男女共同参画の推進 事務事業 02 雇用の男女共同参画推進事業		
	予算事業名			会計コード 001 款 02 項 01 目 06 事業 17		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）			・ワーク・ライフ・バランスへ向けた事業者と市民への啓発 ・女性の退職前のキャリアが活かされる就業環境が確保されるよう事業者への啓発 ・（仮称）茅野市認定事業所制度 従業員の仕事と家庭の両立を支援するための独自の措置を設けている企業を市から表彰する。		
	現状と背景 （どうして）			男女雇用機会均等法の制定などにより女性の働く環境は徐々に改善されてきているが、募集・採用や配置・昇進、賃金などの就労状況は極めて厳しい状況にあります。生涯を通じて男女が共に仕事と家庭の両立しやすいワーク・ライフ・バランスを考慮した就業条件を整備する必要があります。		
目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）			市民 就労者		
	対象 （直接働きかける）			市民、事業者		
手段・方法 （どうやって）	意図			働き続けることを希望する女性が、自分のキャリアをあきらめることなく、活躍できる環境をつくる。 男性は、仕事中心の生活ではなくワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭生活の調和）を大事にした社会。		
				・市民へのアンケートは5年後の平成29年度に実施する予定、その間の状況の把握は市民プランの「市民満足度調査」項目に入れてもらう方法をとる。 ・（仮称）茅野市認定事業所制度は、「働きやすい職場環境づくり」として仕事と生活の調和や男女共同参画に積極的に取り組む企業を評価し、市から表彰し、ホームページや広報ちの等で紹介する。茅野市男女共同参画推進会議の雇用部会委員と協議し取組む。		
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		アンケート調査	回収率	%	回収数/アンケート配布数	60
		（仮称）茅野市認定事業へ申請する事業所	事業所数	社	申請する事業所	20
	雇用専門部会	部会数	回		3	
成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	115,601	147,600	162,208	119,902	195,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	115,601	147,600	162,208	119,902	195,000	
職員数	人	0.20	0.20	0.15	0.20	0.25	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人	0.05	0.05	0.05	0.05		
合計	人	0.25	0.25	0.20	0.25	0.25	
対象（者）数	円						
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円	-	-	-	-	-	
市民一人当たりのコスト	円	2.00	3.00	3.00	2.00	37.00	
活動指標	回収率	目標	%	40		60	60
		実績	%	32			
	達成率	%	80.00	-	-	-	-
	事業所数	目標	社	-	-	20	20
		実績	社			23	
	達成率	%	-	-	-	115.00	-
部会数	目標	回	3	3	3	3	
	実績	回	3	3	3		
達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	-	
成果指標	-	目標	-	100	100		
		実績	-				
	達成率	%	-	-	-	-	-
	-	目標	-	-	-		
実績		-	-	-			
達成率	%	-	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	雇用の男女共同参画事業	事業期間	平成 22 ~	年度	整理番号	01070207	
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	市民活動推進係	作成担当者名	小池 芳子	連絡先	145

期	目 標	実 績	課 題
第1期	第1回雇用専門部会を開催し「茅野市はつらつ事業」認定事業について事業の流れを確認し、委員からの他事業所への案内や、自分の事業所からの申請をする。	第1回専門部会を開催できなかった。「茅野市はつらつ事業所」認定事業をホームページ、広報ちのへ掲載した。認定証をいくつかの種類を作成する。	商工課と連携し、企業への周知や声掛けや雇用専門部会委員から同業者への声掛けが必要。県の「社員の子育て応援宣言」に登録された事業への案内もひとつの方法となる。
第2期	雇用専門部会を開催し、表彰方法、認定証の承諾を得る。県の「社員の子育て応援宣言」登録企業に商工課と連携し案内をする。表彰式、市長日程、部会等のスケジュールを立てる。	「茅野市はつらつ事業所」へ12社の応募があり、審査会を開催し、12社を認定する。8月18日に認定証交付式を行った。ホームページや広報ちのへ掲載する準備をした。	認定された事業所をどのように、一社一社を紹介していくかが課題となる。
第3期	雇用専門部会を開催し、第1回に認定された事業所の紹介方法検討、第2回の募集対策を考える。	第2回雇用専門部会を開催し、企業への周知方法や申請内容についてを検討した。	各委員が自分と同レベルの企業へ声を掛ける。
第4期	12月末までに10社を目標に、企業への声かけをする。	2月に第2回審査会と、認定証交付式を開催し、11社を認定することができた。	認定された事業所をホームページ等で紹介しているが、市民が関心を示す方法も今後必要。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 「茅野市はつらつ事業所」認定事業を有効活用していくために、どんな取組が必要か雇用専門部会での協議が必要。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 向 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 商工課との連携が必要と考える。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	前年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定										
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定											
チェック					4										レ 3																B
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要																														
前年度総合評価判定	総合評価判定																														
前年度評価シート整理番号																															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	茅野市男女共同参画推進会議委員に企業関係の方を増やした事により、雇用専門部会が、第3次計画の取り組みが実施できるようになり、充実してきている。						女性と雇用の実態を把握するためにも、意識調査は必要です。この結果を第3次計画策定に取り入れます。			
						前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	・アンケート項目は5年ごとの変化を見るように部分的に同じ項目が必要。 ・企業関係の部長さんが、実際に自分たちの会社の状況等の参考にし、部会活動を進めることができる。 ・第2次計画で実施できなかった「(仮称)茅野市認定事業制度」を事業名も正式に定め、実施する。						・女性と雇用の実態を把握するためにも、一定の間隔を持った継続的な意識調査は必要なので現状のまま。 ・アンケート項目は5年ごとの変化を見るように部分的に同じ項目が必要。 ・「はつらつ事業所」認定制度を広く紹介し、商工課と連携し応募者の増加を図る。			

最終評価年月日	平成28年4月13日	最終評価責任者	パートナーシップのまちづくり推進課長	田 中 裕 之
---------	------------	---------	--------------------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	区・自治会の男女共同参画事業	事業期間	平成 22 ~ 年度	整理番号	01070206
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	市民活動推進係	作成担当者名	小池 芳子
				連絡先	145

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	06	第6章 住民自治のしくみづくり
				施策	05	第5節 男女共同参画社会づくりの推進
				細施策	01	男女共同参画の推進
				事務事業	03	区・自治会の男女共同参画推進事業
	予算事業名			会計コード	001	款 02 項 01 目 06 事業 09
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	・女性の区への参加により区組織における方針決定過程への女性参画促進のため、区長・自治会長を対象とした女性役員登用に対する意識調査（毎年）や茅野市男女共同参画推進会議委員との懇談会を開催する。				
	現状と背景 （どうして）	茅野市には様々な規模の区・自治会組織がありますが、主な役員である区長・自治会長、区会議員、公民館分館長のうち女性は少数となっています。小地域における各種団体において企画・決定する場に女性が参加できるよう男女それぞれの意識を高め、しきたりや慣習などを変えていく必要があります。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （直接働きかける）	受益者 （誰のために）	市民 区・自治会長 地域における方針等を企画・決定する場で、男女がパートナーとして意見を出し合い、共に責任を分かち合いながら、地域社会づくりに関わっていく。		
	手段・方法 （どうやって）	毎年、区・自治会長宛に女性役員登用に対するアンケート調査を実施。アンケートをまとめ結果を広報ちの等に掲載し、市民に周知する。各区長会へ茅野市男女共同参画推進会議委員がアンケート調査の依頼に向向き、区長、自治会長と懇談をし啓発に繋げる。女性役員（区会議員含む）と茅野市男女共同参画推進会議委員との懇談会を開く。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		区・自治会との懇談会	懇談会数			10
		女性役員との懇談会	女性役員との懇談会数			3
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		女性の役員登用	登用数	人	増加	35

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	188,112	173,800	164,884	134,889	214,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	188,112	173,800	164,884	134,889	214,000	
職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.12	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人	0.02	0.02	0.02	0.02		
合計	人	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	3.00	3.00	3.00	2.00	20.00	
D O （ ）	活動指標	懇談会数	目標	10	10	10	10
			実績	10	10	10	
		達成率	100.00	100.00	100.00	-	-
	女性役員との懇談会数	目標	-	-	3	3	3
		実績	-	-	1		
		達成率	-	-	33.33	-	-
部会数	目標	3	3	3	3	3	
	実績	2	3	3	1		
	達成率	66.67	100.00	100.00	33.33	-	
成果指標	登用数	目標	30	35	35	35	
		実績	20	27	27	27	
	達成率	66.67	77.14	77.14	77.14	77.14	
-	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	
備考	H19から実施						

事務事業名	区・自治会の男女共同参画事業	事業期間	平成 22 ~	年度	整理番号	01070206
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	市民活動推進係	作成担当者名	連絡先	145

期	目 標	実 績	課 題
第1期	平成27年の調査をまとめ、広報、報道等に掲載し、市民へ周知し、意識づくりをする。 3月に実施した女性役員経験者との懇談から得たものを活かす活動にする。	調査の集計をしたが、考察までできなかった。	結果の考察をし、区・自治会長さんへ報告をする。 また、ホームページ記載、報道へ知らせる。
第2期	9月に区・自治会専門部会を開催し、調査の報告、女性役員経験者との懇談会のまとめを説明する。	部会の予定が立てられなかった。	結果の考察をし、区・自治会長さんへ報告をする。 また、ホームページ記載、報道へ知らせる。
第3期	考察を10月のはじめに仕上げ、各区長に配布する。	区・自治会専門部会で調査の考察は必要ないと意見が出された。しかし、平成27年の区・自治会長に配布するタイミングを失い、広報への掲載のみにした。	区・自治会専門部会で調査を2年に一回はどうかと提案したが、区長は毎年変わるので理解してもらうには毎年行い、続けていくことが必要と、まとまる。また女性役員経験者との懇談会から出た意見も活用する。
第4期	平成28年の区・自治会長対象に2・3月を目安に計画をする。	2・3月の区長会での調査は、御柱準備等で実施できなかった。	平成28年の調査は、各コミュニティセンターの所長を通じての調査でもいいのかという意見もあったが、継続が必要という考えの委員さんもいるので部会でもう一度話し合いが必要である。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
調査を毎年、実施していくことは、啓発につながっているのか、何か他に方法があるか、区・自治会専門部会での協議することが必要。	
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性
調査項目内容を、区・自治会専門部会で検討する必要がある。	

評価年度	当年度
------	-----

評 価 年 度	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性登用数は去年より減っているが平成20年度のアンケート開始時より増えています。</li> <li>その年の区・自治会長の考えかたで違いも出てきます。</li> <li>女性役員登用の数字を上げるだけの目的ではなく、なぜ、女性参加が必要かを区・自治会の皆さんに理解してもらう必要があります。</li> </ul>															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	01070225															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	区・自治会長に対し、女性登用の啓発はすぐに結果が出るものではないですが、継続的に行うことにより意識啓発にはつながるのでこれからも必要です。						区・自治会長に対し、女性登用の啓発はすぐに結果が出るものではないですが、継続的に行うことにより意識啓発にはつながるのでこれからも必要です。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	区長会でのアンケート調査の依頼を男女共同参画推進会議委員と共に行、市民の視点で説明をしていただいています。 平成20年度から区・自治会へアンケート調査を毎年続けてきましたが、調査結果から大きな変化は見られないことや、調査回答にじっくり答えてもらうために、隔年に実施することを検討していきます。						アンケートの時期・内容を変更する。 区長会でのアンケートの依頼を去年までは事務局だけで行っていたが、平成25年度からは男女共同参画推進会議委員と共に行き、市民の視点で説明をしていただきます。			
今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					レ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

最終評価年月日	平成28年4月13日	最終評価責任者	パートナーシップのまちづくり推進課長	田 中 裕 之
---------	------------	---------	--------------------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		茅野市はつらつ事業所認定書交付事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030339			
担当部署		産業経済部		商工課	工業労政係	作成担当者名		小平昌紀	連絡先	433			
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	06	第6章 住民自治のしくみづくり							
				施策	05	第5節 男女共同参画社会づくりの推進							
				細施策	01	男女共同参画の推進							
				事務事業	07	(仮称) 認定書交付事業							
	予算事業名								会計コード	001	款	項	目
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	男女共同参画協力事業所への認定書交付をする												
現状と背景 (どうして)	男女がお互いの特性と人権を尊重し、それぞれの個性能力を発揮し男女平等の理念によりいきいきと生きるため。												
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	受益者 (誰のために)	茅野市民											
	対象 (直接働きかける)	男女共同参画協力事業所											
	意図	男女がお互いの特性と人権を尊重し、それぞれの個性能力を発揮し男女平等の理念によりいきいきと生きる社会											
手段・方法 (どうやって)	ワークライフバランス等を実施している事業所を募集し、認定書を交付することにより、事業所のイメージアップに繋げるとともに、男女共同参画協力事業所を増やす												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		認定書交付申請事業所数	申請事業所数	件						5			
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		認定書交付事業所数	交付事業所数	件						5			

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)	
実 施 状 況 （ ）	事業費等(a)	円						
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円						
	職員数							
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人							
対象(者)数								
延利用(者)数(b)								
単位コスト(a)/(b)	円		-	-	-	-	-	
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円		-	-	-	-	-	
O （ ）	活動指標	申請事業所数	目標	件				
		実績	件				23	
	達成率	%		-	-	-	-	-
	-	目標	-					
		実績	-					
	達成率	%		-	-	-	-	-
	-	目標	-					
		実績	-					
達成率	%		-	-	-	-	-	
成果指標	交付事業所数	目標	件					
	実績	件				23		
達成率	%		-	-	-	-	-	
-	目標	-						
	実績	-						
達成率	%		-	-	-	-	-	
備考	事業主管課は、パートナーシップのまちづくり推進課							

事務事業名	茅野市はつつ事業所認定書交付事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030339
担当部署	産業経済部 商工課	工業労政係	作成担当者名	小平昌紀	連絡先	433	

期	目標	実績	課題
第1期	・男女共同参画会議雇用部会出席 ・申請事業所募集		・認定事業所の募集方法、審査方法等の詳細を検討する必要がある。
第2期	・申請事業所募集 ・認定審査会 ・認定証交付式開催	認定証交付事業所数 12社	・認定事業所の募集方法、審査方法等の詳細を検討する必要がある。
第3期	・申請事業所募集		・認定事業所の募集方法、審査方法等の詳細を検討する必要がある。
第4期	・申請事業所募集 ・認定審査会 ・認定証交付式開催	認定証交付事業所数 11社	・認定事業所の募集方法、審査方法等の詳細を検討する必要がある。

事中評価																																																																			
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	<table border="1"> <tr> <td>今</td> <td>成果</td> <td>拡</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後</td> <td>の</td> <td>充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>方</td> <td>現</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>方</td> <td>向</td> <td>状</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向</td> <td>性</td> <td>維</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>性</td> <td></td> <td>持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>縮</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>休</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>廃</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今	成果	拡	②	⑤	⑦	後	の	充				の	方	現	③	⑥	⑨	方	向	状				向	性	維	④	⑧	⑩	性		持						縮	①					小						休						廃						止			
今	成果	拡	②	⑤	⑦																																																														
後	の	充																																																																	
の	方	現	③	⑥	⑨																																																														
方	向	状																																																																	
向	性	維	④	⑧	⑩																																																														
性		持																																																																	
		縮	①																																																																
		小																																																																	
		休																																																																	
		廃																																																																	
		止																																																																	
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	<p>男女共同参画、職場環境改善等を促進を図るため、男女共同参画推進会議雇用専門部会及び事業主管課を連携をとり、引き続き事業を実施する。</p>																																																																		
<p>皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>																																																																			

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック																
課題	<p>市内事業所向けに、認定事業を周知するため、市ホームページ、ものづくりネット及び茅野・産業振興プラザを活用し周知を実施する。 認定を受けた場合に事業所に対して何らかのメリットを設ける必要がある。</p>															
記号の定義	<p>A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号	04030219															

総合評価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	はつつ事業所に認定されることによる事業所のイメージアップにつながり、認定事業所を広報等で周知することで、認定事業所への雇用も期待され、ひいては、市内事業所の雇用拡大につながると期待される。						はつつ事業所に認定されることによる事業所のイメージアップにつながり、認定事業所を広報等で周知することで、認定事業所への雇用も期待されると考えられることから、引き続きすべての市内事業所に向けて周知をしていく。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果	拡	②	⑤	⑦	レ	レ			
の	充									
方	現	③	⑥	⑨						
向	状									
性	維	④	⑧	⑩						
	持									
	縮	①								
	小									
	休									
	廃									
	止									
		皆	減	縮	小	現	状	維	持	拡
		コ	ス	ト	投	入	の	方	向	性
改革・改善策	男女共同参画、職場環境改善等を促進を図るため、男女共同参画推進会議雇用専門部会及び事業主管課を連携をとり、引き続き事業を実施する。					男女共同参画、職場環境改善等を促進を図るため、男女共同参画推進会議雇用専門部会及び事業主管課を連携をとり、引き続き事業を実施する。				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	商工課長	五味正忠
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	家庭・教育での男女共同参画推進事業	事業期間	平成 22 ~ 年度	整理番号	01070208
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	市民活動推進係	作成担当者名	小池 芳子
				連絡先	145

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 06 第6章 住民自治のしくみづくり 施策 05 第5節 男女共同参画社会づくりの推進 細施策 01 男女共同参画の推進 事務事業 08 家庭・教育での男女共同参画推進事業			
	予算事業名			会計コード 001 款 02 項 01 目 06 事業 17			
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）			男女共同参画社会を実現するためには、まず家庭において意識を高めることや、子どもたちから、男女が共に助け合い、お互いが責任を担う家庭環境、教育環境が必要です。第3次茅野市男女共同参画の施策の取り組みを茅野市男女共同参画推進会議委員の家庭・教育専門部会と連携し、実践していきます。			
	現状と背景 （どうして）			子育て環境が変化しており、孤立した子育ての中で母親は不安を抱えています。父親の家事、育児参加しやすい環境づくりが必要です。また、子どもたちは家庭における教育やしつけにより、無意識のうちに意識を身につけてしまいます。子どもの頃から、男女が共に助け合い、お互いに責任を担う家庭環境、学校での環境が必要です。			
目的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）		受益者	市民			
	対象 （ 直 接 動 き か け る ）		対象	同上			
	意図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）			家庭において男女が共に活躍できる社会の実現。			
	手段・方法 （ ど う や っ て ）			男女が共に助け合い、責任を担う家庭が増えるよう情報提供などをし、意識の向上を図ります。企業側への雇用専門部会の取り組み「はつらつ事業所」に、家庭教育専門部会も協力し、男性が育児参加できることが可能となる職場環境の整備の啓発をします。茅野市男女共同参画推進会議の家庭・教育専門部会で市民への啓発活動を話し合い、実施します。			
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		活動指標	家庭・教育専門部会	部会数	回		3
		小学校啓発訪問	学校数	校			5
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
			事業費等 (a)	円	115,602	147,600	162,208	119,902
財 源 内 訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
職 員 数	一般財源	円	115,602	147,600	162,208	119,902	195,000	
	正規職員	人	0.06	0.06	0.10	0.10	0.11	
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01		
	合 計	人	0.07	0.07	0.11	0.11	0.11	
対 象 （ 者 ） 数	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
備 考 （ ）	市民一人当たりのコスト	円	2.00	3.00	3.00	2.00	18.00	
	活 動 指 標	部会数	目標	回	3	3	2	3
			実績	回	3	3	4	3
		達成率	%	100.00	100.00	200.00	100.00	-
	学 校 数	目標	校	3	3	3	5	5
			実績	校	1	1	1	2
		達成率	%	33.33	33.33	33.33	40.00	-
	成 果 指 標	目標	-	-	-	-	-	-
			実績	-	-	-	-	-
		達成率	%	-	-	-	-	-
備 考	目標	-	-	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	-	
	達成率	%	-	-	-	-	-	

事務事業名	家庭・教育での男女共同参画推進事業	事業期間	平成 22 ~	年度	整理番号	01070208	
担当部署	企画総務部	パートナーシップのまちづくり推進課	市民活動推進係	作成担当者名	小池 芳子	連絡先	145

期	目 標	実 績	課 題
第1期	第1回家庭教育専門部会を開催し、今年度の取組を検討する。平成26年度に実施した小学校への啓発事業も続けたいと考える。	家庭・教育専門部会を開催できなかった。	具体的に活動を決め、取り組む方向で行く。
第2期	9月に家庭・教育専門部会を開催する。今年度に訪問する学校について検討する。	家庭・教育の専門部会を開催できなかった。	具体的に活動を決め、取り組む方向で行く。
第3期	10月に家庭・教育専門部会を開催する。今年度に訪問する学校について検討する。	10月20日に第1回家庭・教育専門部会を開催し、小学校への啓発活動の計画を立てた。	平出副会長が永明小学校とのコンタクトを取ってくれて訪問が可能となる。部会での啓発方法の検討が必要。
第4期	12月15日に第2回家庭・教育専門部会を開催予定。	永明小学校へ出向き、6年生の親子対象に啓発活動をした。	専門部会として、活動が安定しはじめているので、この取組は続けるべきだと考える。

事 中 評 価				
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 方 向 性 方 向 性	②	⑤	⑦
第3次茅野市男女共同参画計画には、少子化対策への具体的施策はないけど、つながっている内容はある。学校への訪問他に、家庭・教育専門部会として話し合う機会があってもいいと感じる。		③	⑥	⑨
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		④	⑧	⑩
次の学校を選択する。啓発内容の検討をする。		①		
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		

評価年度	当年度
------	-----

評 価 年 度	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	

課 題	少子化や核家族化の進行、地域社会における人間関係が希薄になってきている状況では、女性は密室での育児に陥り、精神的に追い詰められた母親の孤独から児童虐待等の問題が生まれています。これからは、子育てを男女が対等なパートナーとして、互いに協力し、共に責任を分かち合い、行政がきめ細かな支援を行い、地域の人たちがそれを支援する社会づくりに努める必要があります。子どもの頃からの男女共同参画意識も必要であり、家庭、学校環境での意識づくりが必要です。	記 号 の 定 義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要 前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号 01070230
	前年度総合評価判定 A	

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	女性だけでなく男性も家事、育児などに参画し、喜びも責任も分かち合います。子育ては、男女で共に関わって、子育ての喜びと責任を共有し、状況によっては地域の人たちの応援や多様な保育サービス、行政の支援を受けながら、ゆとりを持って子育てをするための環境が必要です。また、家庭、学校等で、男女が共に助け合い、お互いに責任を担うことが自然と身に付く環境が必要であり、茅野市男女共同参画推進会議家庭・教育専門部会等に協力してもらい啓発を続けていくことが必要	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性			

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦	拡 充			
方向性	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ	
方向性	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
方向性	休 廃 止	①				休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

改革・改善策	第2次茅野市男女共同参画計画ではどんぐりプランの推進を男女共同参画の施策にしましたが、第3次からは、男女共同参画の視点での施策に絞り取り組みを挙げています。	男女共同参画の視点でのどんぐりプランを挙げ取り組みます。
--------	--------------------------------------------------------------------------------	------------------------------

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	パートナーシップのまちづくり推進課長	田 中 岳 男
---------	------------	---------	--------------------	---------